

団体名	認定NPO法人 まち・コミュニケーション						
事業名	災害を通じた留学生と地域住民が学び合い ～世界の防災力UP・文化・国際交流～						
実施期間	平成30年5月24日～26日、8月31日、平成30年9月13日～15日						
場 所	北海道有珠山、兵庫県豊岡市、福島県・宮城県沿岸部						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	3			6	8	33	50名

### <実施内容>

災害を通じた留学生と地域住民が学び合い防災力・文化・国際交流を行った。  
下記、3つの事業を実施した。

- ①事業実施日：平成30年5月26日～28日 会場：有珠山周辺 参加人数： 8名  
2000年に噴火した有珠山周辺を訪問し、災害の怖さと復興を学んだ。三松正夫記念館で事前学習を受け、噴火で出来た昭和金山に登った。火山の証である洞爺湖の0ポイントを訪問するため、ボートに乗車し、周辺の地形の説明を受けた。洞爺観光ホテルの代表取締役の三浦和則さん「災害からのホテル・観光の復興」講演を聞いた。洞爺湖ビジターセンター・火山科学館を訪問した。その後、数々の災害遺構を回った。全ての行程を火山マイスターの皆さんがついて説明してくださいました。ありがとうございました。
- ②平成30年8月31日 会場：兵庫県豊岡市 参加人数： 7名  
2004年に起こった台風23号水害の被災地を訪問し、災害の怖さと復興(農業)を、実地で学んだ。前日に、豊岡市に向かい、早朝から、農作業をし、その後、当時の映像や被災現場を訪問し、語り部から学んだ。
- ③事業実施日：平成30年9月13日～15日 会場：福島県・宮城県沿岸部 参加人数： 2名  
2011年3月に起こった東日本大震災の被災地を訪れ、災害と復興を学んだ。9月13日は、福島県小高区を訪問し、地域の説明を受けた後、まち歩きを実施しました。9月14日は、午前中福島県新地町を訪問し、地域の説明と漁師からお話を聞きました。午後は、宮城県仙台市を訪問し、災害遺構「荒浜小学校」を視察・見学しました。9月15日は、宮城県石巻市を訪問し、多くの児童が亡くなった大川小学校を訪問しました。その後、宮城県女川町を訪問し、地元組織の会長から、復興まちづくりを学びました。

### <記録写真>



噴火からの復興の講話



浸水水位から、水害の怖さを実感



津波からの地域文化の復興を学ぶ

### <参加者からのコメント>

ジャンさん(国名)/Mr.jan (KOREA)

The common sense about my "volcano" has changed for this trip. Especially for me it was learned that what was common sense is completely different from real volcanoes. And there were those who tried to live in that terrible situation. "Make plus minus", thinking that scrupulous nature is grasped and that mind trying to use it well is important, and all the members of the region have such a mind, reconstruction can be accomplished. Also, as I also live in Japan, I thought that I had to study how earthquakes, volcanoes, tsunamis, etc. should be acted on.

楊さん(台湾)/Mr. you (TAIWAN)

I recognized the earthquake again this time. The earthquake magnitude of the Great East Japan Earthquake and the 921 earthquake scale of Taiwan are completely different levels. Like Taiwan and Japan, we should always have disasters with our best preparations. In addition to learning about disasters, I also learned various cultures of Fukushima and Miyagi prefectures. I also found the difficulty of reconstruction. In the future I would like to focus on disaster relief and reconstruction through volunteer activities.